

第6学年道徳科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇)
授業者 〇 〇 〇 〇

1 主題名

目標に向かう強い心「A-(5) 希望と勇気, 努力と強い意志」

2 ねらいと教材

(1) ねらい

目標を立て、希望や夢に向かって、諦めずに努力しようとする道徳的判断力と道徳的心情を育てる。

(2) 教材名

「心をつなぐ音色～ピアニスト 辻井伸行」(東京書籍 新しい道徳6年)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本主題は、小学校学習指導要領解説特別の教科道徳編第5学年及び第6学年の「A 主として自分自身に関すること」の指導事項「(5) 希望と勇気, 努力と強い意志」より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くことを受けている。

児童が一人の人間として自立し、よりよく生きていくためには、常に自分自身を高めていこうとする意欲を持つことが大切である。そのためには、自分の目標を高く持って、その達成に向けて粘り強く努力するとともに、やるべきことはしっかりとやり抜く忍耐力を養うことが求められる。

(2) 児童のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

児童は、これまでの学習を通して、先人や著名人の生き方に触れる機会が多くあり、その生き方に憧れたり、自分の夢や希望を膨らませたりしてきた。一方、自分自身に自信が持てなかったり、思うように結果が出なかったりして、夢と現実との違いを感じるようになってきている。このような時期だからこそ、様々な生き方への関心を高めるとともに、自己の向上のためにより高い目標を設定し、その達成を目指して、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力しようとする道徳的判断力と道徳的心情を育てる必要があると考える。

(3) 使用する教材の特質やそれを生かす具体的な活用方法

本教材は、盲目のピアニスト辻井伸行さん(のぶ君)がピアノ演奏の喜びを知り、世界的なコンクールに出場する姿を描いている。辻井さんは、困難にぶつかりながらも努力し、自分のピアノを聴いてくれた人が喜んでくれるような演奏をすることを何よりも大切にしている。聴いてくれる人の心に響く音楽を目指して日々練習に取り組む姿は、幼い頃から変わらない。その思いが世界的なコンクールの優勝につながり、今のピアニストとしての音楽活動につながっている。この辻井さんの生き方に触れることで、児童が自分の夢を見つめるきっかけとしたい。

教材の活用としては、導入で辻井さんが弾く「英雄ポロネーゼ」のVTRを見せ、目が見えなくてもピアノを弾くことの大変さや素晴らしさに気付かせる。展開では、「無理だね」と言われてもあきらめずに練習を続ける辻井さんの思いを考えさせることを通して夢に向かってあきらめない思いや考えを多面的・多角的に考えさせたい。終末では、コンクールで優勝した辻井さんのインタビューの様子をVTRで見せる。高い目標を持ち努力したことによって、世界的なピアニストとして活躍する辻井さんの姿から、夢をあきらめないことや努力を続けること、聴いてくれる人達のために弾いていること、支えてくれる人達への感謝な気持ちなど深く考えさせたい。

4 学習指導過程

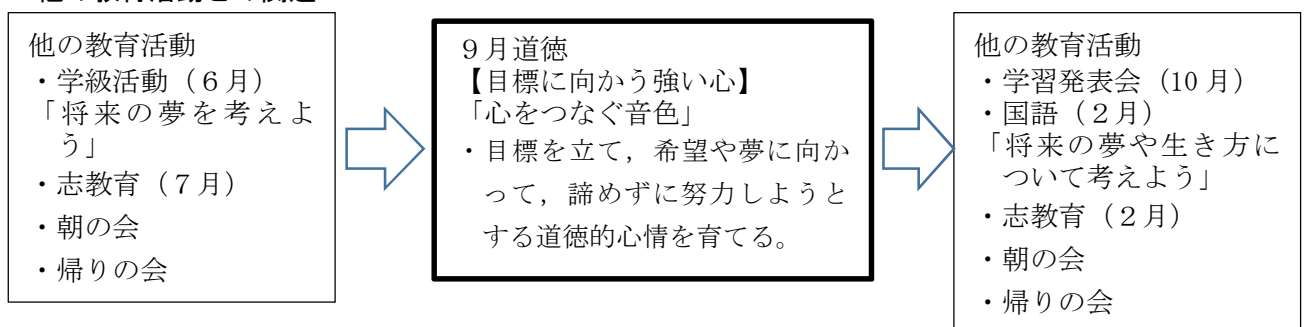
	<p style="text-align: center;">学習活動</p> <p>○主な発問 ・予想される児童生徒の反応</p>	<p style="text-align: center;">指導上の留意点</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">導入 7分</p>	<p>1 教材の内容に興味・関心をもたせる。</p> <p>○ 将来の夢がある人はいますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー選手になりたい。 ・ピアニストになりたい。 ・まだ決まっていない。 <p>○ 夢に向かって努力していることはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日練習を頑張っている。 ・夢はあるけど、特に何もしていない。 <p>○ 辻井伸行さんの演奏している姿を見て、どう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目が見えないのにピアノを弾くなんてすごい。 ・気持ちよさそうに演奏している。 ・全身を使って演奏している。 <p>○ 辻井さんの生き方から、夢や希望を叶えるために大切な思いは何か考えよう。</p> <p>2 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>夢や希望について考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢は何かを想起させることで、ねらいとする道徳的価値への問題意識を高める。 ・辻井伸行さんに興味をもたせるために、実際に演奏している映像を見せ、盲目のピアニストである辻井伸行さんの紹介をする。 ・実際に目をつぶってみることで、目が見えないのにピアノを弾くことへの困難さに気付かせる。 <p style="margin-top: 20px;">・課題として、困難を抱えても、ピアニストとして成功している辻井さんの生き方を通して、夢や希望を持つことについて考えることを捉えさせる。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">展開 前段 28分</p>	<p>3 教材の内容を把握し、登場人物の心情を捉える。</p> <p>○ のぶ君がどんどんピアノが上達したのはどうしてですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶対音感があった。 ・お母さんが喜んでくれた。 <p>○ ショッピングセンターの広場で演奏し、初めて拍手をもらう体験に心が高鳴ったのぶ君はどのような気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大勢の人に喜んでもらえてとても嬉しい。 ・感動した。 ・今までとは違う。 <p>○ 「もうだめだね」と言われた辻井さんは、どのような気持ちで深夜までピアノに向かったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悔しい。 ・最後まで諦めたくない。 ・やれるところまで頑張ろう。 ・今まで頑張ってきたから、途中であきらめない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の内容を理解し、話し合う時間を確保するために、朝の読書の時間に事前読みさせておく。 ・お母さんが喜んでくれたことが嬉しかった、また、初めて大勢の人の前で演奏して拍手をもらって嬉しかったという心情を捉えることで、聴いてくれる人の笑顔のためにピアニストを目指す原動力となったことにつなげる。 <p style="margin-top: 20px;">・多面的・多角的に考えることができるよう、悔しいという気持ちには、どんな思いが含まれているのか、問い返しをしながら広げていく。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>自分との関わりで考えさせるための発問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がもうだめだねと言われたら、どのように思いますか。 </div>

<p>展開後段5分</p>	<p>4 困難に負けず、夢や希望を叶えるために、必要な思いは何か考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◎ 目が不自由なのに、ピアニストとして成功することができたのは、どんな思いがあったからでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと、実力をつけて、聴いてくれるお客さんの心を動かしたい。 ・自分の弾くピアノで人のことを笑顔にしたい。 ・自分が思う最高のピアノを弾きたい。 ・諦めないで、もっと努力したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを整理するために、ノートに書かせる。 ・夢や希望を持つことについて、多面的・多角的に考えることができるように全体で考えを共有する。
<p>終末3分</p>	<p>5 自己の生き方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 辻井さんの実際のインタビューを動画で見てください。どのようなことを感じますか。 ○ 夢や希望を叶えるためには、どのような思いが必要でしょう。 ・辻井さんのように諦めないで、努力を積み重ねて自分の好きなことをしっかりしていきたい。 ・夢や希望を叶えるために、強い目標を持ち、その目標にたどり着くために努力をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・辻井さん本人の思いに触れさせるために、コンクールで優勝した時のインタビューの様子を動画で視聴させる。 ・「夢や希望を叶えるためには」として、振り返り、今日の授業を通して、考えたこと、分かったこと、これからどうしたいかをノートに書かせる。

【評価】

自分との関わりで考えることを通して、夢や希望を持つためにどのような思いが大切であるかを考えようとしている。

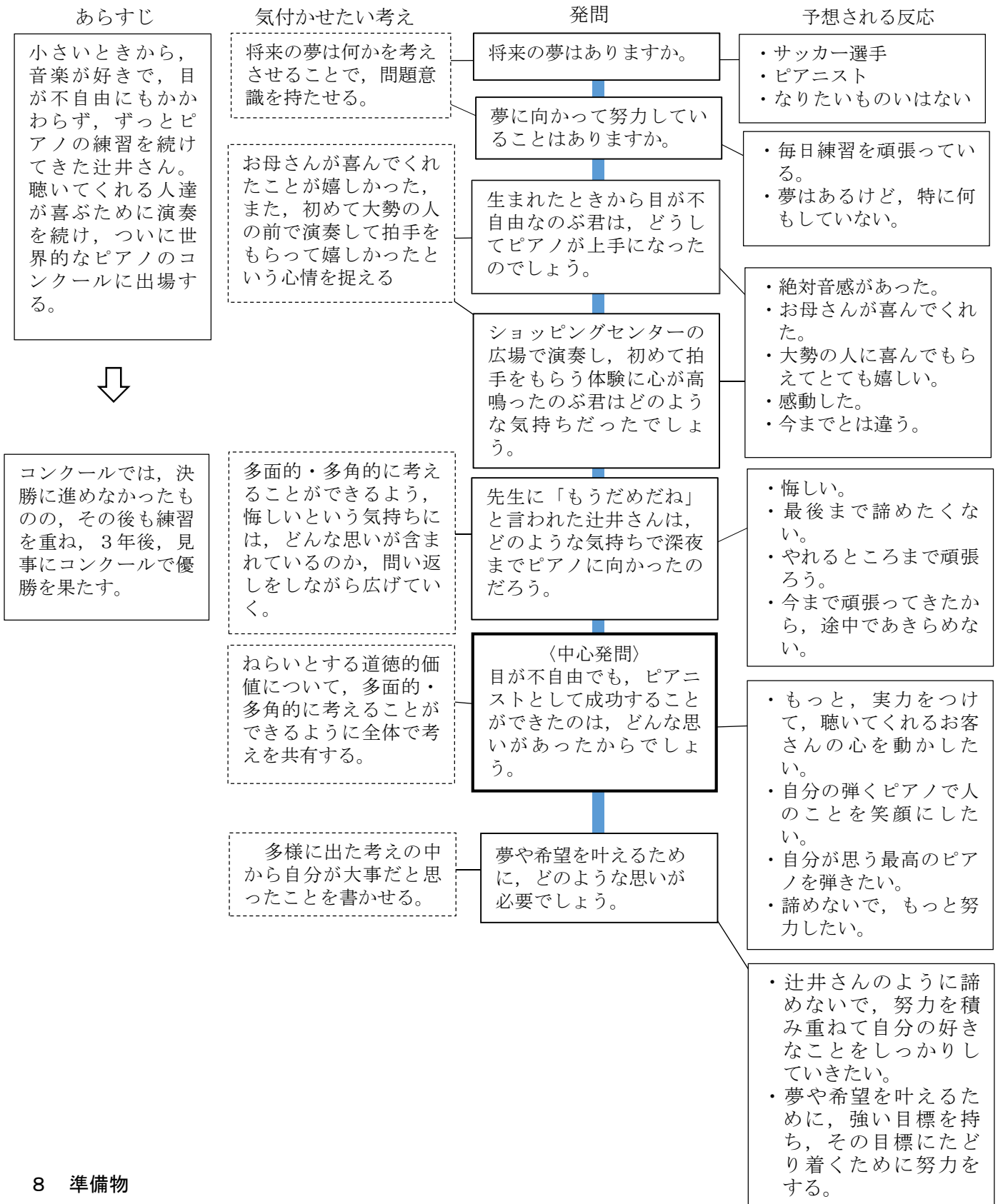
5 他の教育活動との関連



6 補充・深化・統合の視点【深化】

この教材は、夢や希望を叶えるために、こうなりたいという強い思いがあれば、困難があってもくじけずに努力できるということを考えさせることができる。目が不自由という困難を乗り越えて、将来の夢に向かって「希望と勇気、努力と強い意志」を持つために必要な思いについて、辻井さんの生き方を通して深く考えさせる。

7 教材分析・発問構成



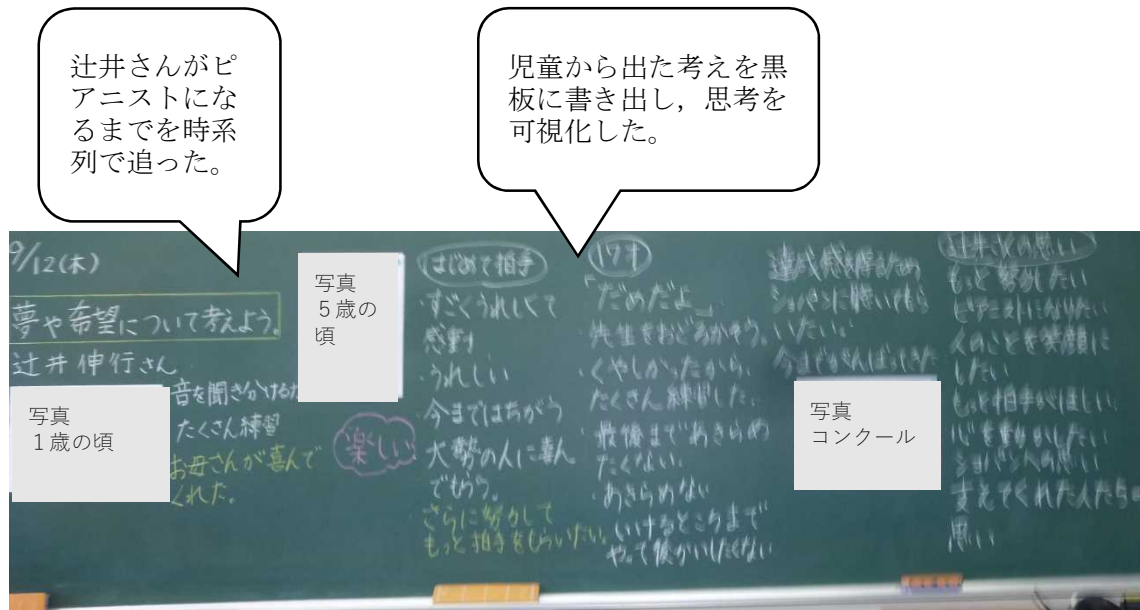
8 準備物

教師：教科書，拡大写真，VTR

児童：教科書，ノート

9 実践の記録 (○成果, ●課題)

【板書】



辻井さんがピアニストになるまでを時系列で追った。

児童から出た考えを黒板に書き出し、思考を可視化した。

(1) 導入

問題意識を持たせた

将来の夢は何かを問い、夢を叶えるためにどのような目標を立てているのかを問うことで、今日の道徳は、夢や希望を持つことについて考えるのだという意識を持たせる。その際、まだ夢は決まっていなくても焦る必要はないことを伝え、高い目標を掲げ、ピアニストになるという夢を叶えた辻井伸行さんのお話の中から、よりよく生きるためにヒントを考えるということを伝える。

- 導入を丁寧に扱うことで、本時に考える道徳的価値について、どの児童も集中して考えることができた。
- 夢がある児童は、自分の夢と重ねて、夢がまだ決まっていない児童は、生き方のヒントをもらおうとして意識を持たせることができた。

動画を活用した

辻井さんが実際にピアノを弾いている動画を見せた後、児童に目をつぶらせ、その状態でピアノを弾いていることについてどう思うか簡単に感想を言い合い、目が不自由という困難な状況に負けずに、ピアニストになった辻井さんの生き方について考えさせる。

- 目をつぶってピアノを弾く振りをするという動作化を通して、辻井さんは、目が不自由なのに「どうしてピアニストになることができたのだろう」と自分の事として考えさせることができた。

(2) 展開

挿絵を活用し、教材の内容を自分の事として考えさせる

自分との関わりで考えさせる手立てとして、教科書の挿絵を活用しながら、辻井さんの心情を幼少期から追って考えさせる。

- 辻井さんの2歳の頃のピアノを弾く様子から、「お母さんに喜んでもらえることが自分の喜び」とであると気付かせ、5歳では、お母さんという家族以外の人からもらった大きな拍手で、音楽を聴いた人を喜ばせたいと思ったことに気付かせる。そこから、どうしてそのような思いになるのか、話し合い、自分の好きなことのためには、夢に向かって頑張ることができるという思いに気付かせることができた。

中心発問に対して、書く活動から話合う活動を行った

展開前段で、辻井さんの思いを十分に考えさせた後、中心発問で「辻井さんは、目が不自由という障害がありながら、ピアニストとして成功することができたのは、どのような思いがあったからか」と問い、自分の考えをノートに記述する。その記述をもとにグループで話し合ったあと、全体で考えを出し合わせる。

- 展開前段で十分に自我関与して考えていたので、辻井さんにどのような思いがあったのかを多様に引き出すことができた。
- 表面だけの思いではなく、相手を喜ばせたい、笑顔にしたいという行動の原動力になる部分を考える児童が多くいた。
- 授業後にノートを改めて見ると、もっと多様な思いや考えが記述されているので、一単位時間のなかで、座席表などを活用して児童の多様な考えをもっと表に出すようにしていく必要がある。

道徳ノートの記述より

- ・もっと実力をつけて、聞いてくれるお客さんの心を動かしたい。
- ・5歳の時にもらった拍手より大きな拍手をもう一度聞きたい。
- ・自分の弾くピアノで人のことを笑顔にしたいから。
- ・自分が思う最高のピアノを弾きたい。
- ・何があっても、昔からやってきたピアノだからやめないでこれからももっと努力したいという思い。

(3) 終末

映像を活用した

- コンクールで優勝した時のスピーチの動画を流すことで、優勝してもなお、高い目標を持って努力を続けようとする姿に気付かせることができた。

自己を見つめた

- 終末では、「夢や希望を叶えるには」として振り返り、今日の授業を通して、考えたこと、分かったこと、これからどうしたいかをノートに書かせることで、児童がこの時間にどのようなことを大事に思ったのか見取ることができた。

道徳ノート記述より

- ・辻井さんのように諦めないで、努力を積み重ねて自分の好きなことをしっかりしていきたい。
- ・夢や希望を叶えるためには、諦めない心や人生の深い思い、経験、いつまでも追究する心が大切だと思う。
- ・たとえ、「だめだよ」と言われても、諦めないで最後までやり続ける。
- ・夢や希望を叶えるために、その仕事を好きになって、楽しくなって、支えてくれている人に感謝して努力をしていきたい。
- ・夢や希望を叶えるために、強い目標を持ち、その目標にたどり着くために努力をする。